

御堂筋の会

Midosuji no kai

私たちは、ミナミ御堂筋の沿道企業体です。

定例会 ニュース

(2019年3月)

「ミナミ御堂筋の会」は、ミナミの御堂筋沿道の不動産オーナーが連携し、「世界の御堂筋」をめざして、まちのあり方を提案し、実現に向けて働きかける団体です。

vol. 39

1. 御堂筋協議会(準備会)について

御堂筋80年記念事業以降も継続的に活動するため、御堂筋沿道のまちづくり団体が一堂に会する協議会「御堂筋協議会(準備会)」が開催されました。3月19日の第2回御堂筋協議会(準備会)では、設立に向けて、組織体制やスケジュール、また、エリアマネジメント活動の制度等について話し合いました。

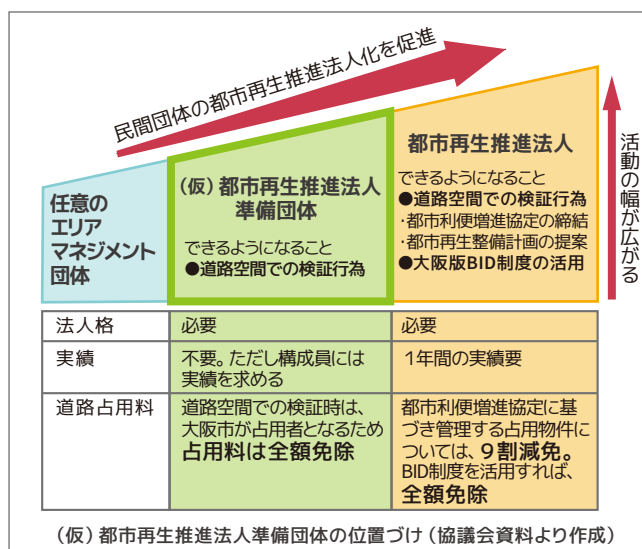
当会からは、事務局(アルパック絹原)が出席しましたので、その内容について報告しました。

◎賑わい創出の取組を行う上で議論する方針や課題

- 道路空間を活用したエリアマネジメント
(エリア特性に応じた賑わいづくりの方針、地域課題の解決)
- プロモーション
(エリア毎のプロモーションと役割分担、トップセールスの共有)
- その他(全国・海外事例などの共有、学習など)

◎大阪市エリアマネジメント活動団体の認定制度「(仮)都市再生推進法人準備団体」の創設に向けて

- ・都市再生推進法人の指定件数が増加していない。
- ・道路空間に設置した占用物による収入見込み等について、検証する仕組みがなく、事業計画を示すことができないため、地権者間の合意形成が困難となっていることが要因と考えられる。
- ・大阪市では、独自に「(仮)都市再生推進法人準備団体」を認定し、都市再生推進法人化に向けた初期支援として、道路空間での検証行為を可能とする。



〈会員からの意見〉

- ◎都市再生推進法人準備団体の認定制度はありがたく、なんば駅前広場で活用を検討できたら。ただ、準備団体は道路占用料が全額免除されるが、都市再生推進法人になると、BID制度を活用しなければ1割負担になってしまうことが課題だと感じる。
- ◎大阪メトロはこのような協議の場に参加することはあるのか?
→メトロに対しては、道頓堀川~千日前通区間において地下鉄出入口があり、区間協議会の中で、地元から強く参加を求める声が挙がっている。(事務局)
→不動産事業についても検討しているようで、そちらからのアプローチもあり得る。

2. 全国街路空間再構築・利活用推進会議について

3月13日に開催された「全国街路空間再構築・利活用推進会議」について、アルパック絹原より情報提供しました。

会議では、街路空間を利活用する事例が取り上げられ、御堂筋も先進事例として紹介されました。道路空間を利活用し、車中心から人中心の空間になるよう、国土交通省も後押ししていくとのことで、来年度は神戸市で開催予定です。

◎魚町サンロード商店街 北九州市

- ・まちづくり会社が先導しており、国家戦略特区を利用して道路空間のにじみ出しも活用している。
- ・補助金に頼らないにぎわいづくりに取り組んでいる。(事業運営費は地域団体が負担等)
- ・道路管理者及び交通管理者との事前調整は市が実施し、地域がチャレンジしやすい環境が整えられている。

◎おおみやストリートテラス さいたま市

- ・アーバンデザインセンター大宮が、「産+官+学+民」の連携を理念に、デザインマネジメント、エリアマネジメント等に取り組んでいる。
- ・大宮駅東口周辺の都市計画道路予定地でテラス等を設置する社会実験を毎年実施している。

◎渋谷駅周辺地域 渋谷区

- ・交通戦略を策定中。駅周辺地域を通過せずに迂回できるネットワークが作られる。



(資料)渋谷区資料

3. 海外の道路利活用事例 ウィーン、ニューヨーク、パリ

行政やコンサル等で構成する関西道路研究会の勉強会にて、海外の道路利活用事例が取り上げられました。ヨーロッパでは、交通問題・歩行者空間問題は、政治的争点となっており、政治的なリーダーシップによって取り組まれています。歩行者空間化が市民権を得ている事例について、アルパック絹原より情報提供しました。

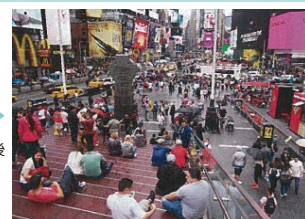
◎マリアヒルファー通り 【ウィーン】 ～シェアードスペース導入による交通空間再編～

- ・通りの中心部分400mが歩行者空間化され、その東西両側には、「ミーティングゾーン」と呼ばれるシェアードスペースが導入されている。
- ・ミーティングゾーンは、「道路空間において、自動車、自転車、歩行者を対等にみなす」という理念のもとに生まれた交通規制である。全ての交通は20km/hに速度規制され、車は指定されたエリアに短時間しか駐車できない。
- ・歩行者空間・ミーティングゾーン運用に向け、8ヶ月の社会実験が実施し、市民権を得た。



◎ブロードウェイ 【ニューヨーク】 ～タイムズスクエアを中心とした道路の広場化～

- ・タイムズスクエアは、元々道路だったが広場化された。
- ・整備の結果、歩行者は11%増加、車道での事故は63%減少、歩道での事故は35%減少、74%の人がタイムズスクエアの交通が画期的に良くなったと評価した。
- ・地域のBIDでガードマンを雇用し、ガードマンの業務に加えてゴミ拾いを行うことで治安が改善した。



◎道路空間再編について 【パリ】 ～パリは呼吸する～

- ・道路空間を市民に開放する政策を市長が掲げ、道路空間再編を実行している。歩行者空間化により発生する車の渋滞が、「車で来てはいけない」という気付きを促すこともあり、渋滞の発生があまり問題視されていないことが印象的であった。
- ・「パリは呼吸する」という取組では、18の地区で時間帯車両通行禁止規制が行われる。その頻度や時間は、地区によりさまざまである。
- ・シャンゼリゼ通りは、毎月第1日曜に歩行者空間化される。



シャンゼリゼ通り



Paris Respire ～パリは呼吸する～

4. その他報告事項

◎御堂筋 姉妹ストリート協定について

- ・米国 シカゴ市 ザ・マグニフィセント・マイル、豪州メルボルン市 スワンストンストリートに続き、2019年も姉妹ストリート協定を締結する方向で取り組んでいるようである。

◎御堂筋周辺の動向について

- ・大丸百貨店…6月頃にはプレスリリースで詳細をオープンにできる見込み
- ・ホテルロイヤルクラシック大阪…7月末引渡、12月オープン予定
- ・ミナミまち育てネットワーク…2019年度も例年と同様、べっぴんプロジェクト、学生音楽祭が2本柱。将来ビジョンの検討のため、ワーキングを立ち上げる。

重要 5月27日(月)は総会・懇親会を開催します。

5 清掃・自転車適正化

定例会後、有志により、御堂筋の東西沿道(難波交差点付近～道頓堀橋)にて、清掃、自転車適正化活動を実施しました。



ご参加いただき、ありがとうございました!

定例会
参加者

【正会員】 中西(株式会社大丸松坂屋百貨店)、高土佳(都島自動車株式会社)、加賀(七宝山 大福院 三津寺)、奥村(株式会社泉屋商店)、藤本稔(株式会社播重)、福崎(株式会社スポーツタカハシ)、都(株式会社どうとんぼり神座)、池田(有限会社泉屋)、富永(三信株式会社)、網本(光明興業株式会社)、吉田(株式会社ベルコ)

【賛助会員】 辻(イチエィ商事株式会社)、島田・鈴木・安田(東京建物株式会社)、武村(コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社)、橋川(CBRE株式会社)

【オブザーバー】 和田・洲田(ミナミまち育てネットワーク)、砂原(株式会社マルイ)

【事務局】 中塚・絹原・竹林(株式会社地域計画建築研究所(アルパック))

次回定例会のお知らせ

自転車問題とホームレス問題を解決するシェアサイクル「ハブチャリ」を運営するNPO法人Homedoor 川口様をお迎えする予定です

連休前に開催
します
ご注意ください

2019年4月22日(月) 16:00～

難波御堂筋ビルディング 難波御堂筋ホールにて開催

【発行】 ミナミ御堂筋の会 URL: <https://www.facebook.com/minami.midosuji>

【問い合わせ先】 ミナミ御堂筋の会事務局 (株式会社地域計画建築研究所 大阪事務所 内 【担当: 絹原・竹林】)

〒541-0042 大阪市中央区今橋3-1-7 日本生命今橋ビル10F

TEL: 06-6205-3600 FAX: 06-6205-3601 E-mail: minami-midosuji@arpak.co.jp